～～採石法施行規則第１１条報告の記入要領～～

【報告書の作成について】

１）報告対象期間　　　**毎年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの期間。**

２）報告期限と報告先　**報告対象期間の翌年の 3 月末日までに採取場の所在地を所管する経済産業局長あて。**

３）報告の内容　　　　**以下【本表】、【附表】で示す内容。（以下の説明を参照。）**

【本 表】

１）「採石業者の氏名又は名称」の欄

２）「採石業者の住所及び電話番号」の欄

① 名称、住所等は、当該採取場を管轄する府県に登録している事業者名、住所等を記入して下さい。 ② 法人の場合は代表者の氏名も併せて記入して下さい。

３）「登録番号及び登録年月日」の欄　　　・・・・登録された番号及び年月日を記載ください。

４）「採石業者が法人の場合にはその資本金額」の欄・・・資本金の額を記載ください。

５）「事務所の名称、所在地及び電話番号」の欄・・・岩石採取場を管理する事務所の名称、所在地を記載ください。

６）「業務管理者の氏名及び従業員数」の欄

①「業務管理者の氏名」：　複数選任している場合は、代表の者１名の氏名を記入し、その横に氏名を記入した人以外の人数を記入して下さい。　→　例：「採石太郎　ほか１名」 ②「従業員数　人」：　採取場における全体の従業員数（事務員を含む）を記入して下さい。（※注：業務管理者を含む） ③「従業員数（　人)」：　上記②の人数の内、岩石採取のための直接的な作業に従事する者（現場作業者）の人数は（　　人）内に内数で記入ください。 ④複数の採取場で採掘しており、従業員がそれら複数の採取場で作業に従事（兼務）している場合は、重複してカウントしないよう、適宜、配分して下さい。

７）「岩石採取場の名称及び所在地」の欄

① 採取計画の認可申請で記載した採取場の名称、所在地等を記載ください。 ② 採取場の所在地（住所）が２筆以上の土地にわたる場合、主所在地、外●●筆と記入して下さい。

８）「採取する岩石の名称」の欄

①採石法第２条に規定する岩石の名称を記載してください。なお、通称名（例えば「真砂土」等）がある場合には、(　)内にその名称を記入して下さい。→花崗岩（真砂土） ②２種類以上の岩石を採取している場合は、**全て**の名称を記入して下さい。

９）「採取計画の認可年月日」の欄

認可を受けている採取計画の直近の認可日を記載して下さい。年の途中で採取計画の認可を更新した場合は、その認可日を記載ください。

１０）「権利の種類」の欄

①「土地所有権」:　採石業者が自社の所有する土地で岩石を採取している場合です。 **②「採石権」**:　岩石採掘を行う土地について、**採石法第４条に基づく「採石権」を設定し、法務局に登記している場合**です。 ③「その他の権利」:　上記以外のケース。採石業者と土地所有者との間で、借地契約や土地使用（岩石採取）同意書等を締結しているもの。 ④ 上記①～③に該当するものの面積の合計が、採取計画で認可されている面積となります。

１１）「権利を取得した年月日」・・・１０）に記載の権利を取得した日を記載してください。
１２）「存続期間」・・・・・・・・・・１１）の取得した権利の存続期間を記載して下さい。
１３）「採石料その他の対価」・・・・１１）の取得した権利に対する対価を記載してください
１４）「採取する土地の面積（単位：㎡)」・・・１１）の記載した権利毎の土地で岩石を採取する面積を記載して下さい。
１５）「土地の所在地」・・・・・・・１１）の取得した権利の土地の所在地を記載して下さい。
１６）「土地所有者の住所及び氏名又は名称」・・１１）の取得した権利の土地の所有者について記載してください。
１７）「岩石の採取に関し他の行政庁の許認可処分が必要な場合にはその処分の内容」の欄

当該採取場で岩石を採取するにあたって、採石法以外の許認可が必要であった場合は、本欄に以下の①～③について記入して下さい。（森林法、農地法等） ① 法律名（→　**採石法以外です**。） ② 許認可の内容 ③　許認可を受けた年月日及びその有効期間

１８）「採取した岩石の名称」の欄

① 対象期間内に採取した岩石の名称を記載してください。 ②　８）に記載した岩石の名称が複数の場合、各欄には岩石毎に名称を記載してください。

１９）「年間生産量」の欄

① 毎年１月１日～１２月３１日までの生産量（単位：トン）を記入して下さい。 ②　２０）「年間生産量の製品別内訳」の合計と一致するようにして下さい。

２０）「年間生産量の製品別内訳」の欄

製品は、その用途によって、以下の３種類に分類しております。 ①「砕石」:主として道路（路盤材、アスファルト骨材）及びコンクリート骨材に使用。 ②「石材」:主として土木建築用に使用。門柱、墓石用も含みます。 ③「工業用原料」:主として工業用原料に使用。瓦等の加工品用が該当します。 ※以下の場合は、石材の「その他」欄に生産量を記入して下さい。 1.採取した岩石を埋め立て用に使用している場合。 2.風化花崗岩（真砂土）を採取している場合。

２１）「廃土及び廃石の量」の欄

廃土及び廃石は、採石業としての生産量には含めません。「19)年間生産量」の欄には、加算しないで下さい。

２２）「岩石の採取の方法及び設備等の状況」　～　２９）「災害防止の方法及び施設」の欄
本表に記入せずに【附表】に記入してください。

３０）「災害発生の有無、～中略～これに対して講じた措置」の欄

本欄には、以下の①～④について記入して下さい。また、別紙「附表」の(9)欄にも記入して下さい。 ①災害発生年月日 ②災害発生場所（採掘切羽〇〇ｍＬ、運搬道路、〇〇残壁等） ③災害の概要（被害状況を含め、簡潔にまとめて下さい。） ④災害に対して講じた措置（簡潔にまとめて下さい。） ※報告対象年の１月～１２月の間、災害が発生していない場合は、「**災害発生なし**」と記入して下さい。

続いて附表（事項に記載）

【附 表】

(1)「用途別の区分」の欄

採取計画の認可申請時に記載している「採取する岩石の用途」又は、年間の生産量が多い区分にチェックを入れてください。

(2)「採石方法」の欄

各採掘方法について、採用の有無を**必ず選択**して下さい。

複数の採掘方法を採用している場合は、生産量の最も多い採掘方法を１つ選択して下さい。

(3)「採掘手段」

該当する採掘手段にチェックして下さい。

(4)「機械掘における主要設備」の欄

主要設備について、繁忙期の使用実績を記入して下さい。

「小割発破」については、実施の有無を選択して下さい。

(5)「使用火薬類」の欄

年間の使用量をkg単位で、記載して下さい。

なお、雷管は火薬類取締法では「火工品」ですので、爆薬又は火薬に分類されません。

従って本欄においては、**雷管の使用実績を計上しないで下さい。**

(6)「破砕・選別」の欄

a)「選別実施の有無」及び「各選別方法」の実施の有無を必ず選択して下さい。

b)「機械破砕選別」を実施している場合には、

・水洗式破砕選別施設の有無を選択して下さい。

（粉じん防止のための散水は、水洗工程には該当しないのでご注意下さい。）

・あり（破砕選別施設に水洗工程が含まれている）を選択した場合には、右側の「総使用水量」の枠内に１日あたりの総使用水量を記入して下さい。

※水量は、変動すると思いますが、１日当たりの平均的な使用水量（㎥）を記入。

・機械での破砕・選別で使用している設備の台数を記入して下さい。

(7)「運搬機器の主要設備」の欄

岩石の運搬で使用している設備の台数を記入して下さい。

(8)「廃土又は廃石のたい積場」の欄

各たい積の方法に該当する**たい積場の「数」**を記入して下さい。

(9)「災害防止の施設」の欄

災害防止施設について該当がない場合は、「なし」にチェックを入れて下さい。

(10)「災害発生状況」の欄

災害の発生について、該当があった場合、発生件数を記入して下さい。